

バターおよび脱脂粉乳の需給予測について

1. バター

(1) 生産量

○ 生乳生産量を見ると、都府県が引き続き減少が見込まれる一方、北海道は震災前と比較して伸び率は鈍化傾向にあるものの、前年同期を上回る水準で推移している。ただし、北海道では長雨により収穫が遅れた今年度産飼料の給餌や今冬の寒波により一部地域では生乳生産への影響が見られることから、今後、地域ごとの動向に注視が必要である。

こうした状況の中、生クリームなどの液状乳製品向けやチーズ向けの減少を受けて、1月は脱脂粉乳・バター等向け生乳供給量の増加が見込まれる。一方で、2月は液状乳製品向けの増加などにより、脱脂粉乳・バター等向け生乳供給量の減少が見込まれる。このため、バターの生産量については、1月は前年同月を上回る一方で、2月は前年同月を下回ると予測する。

(2) 出回り量

○ 出回り量は、過去の月別出回り量の実績などをもとに推計した結果、1月、2月ともに、乳業以外への輸入バターの売渡し予定数量（注：在庫量ではなく出回り量として計上）の増加などもあり、前年同月を上回ると予測する。

(3) 在庫量

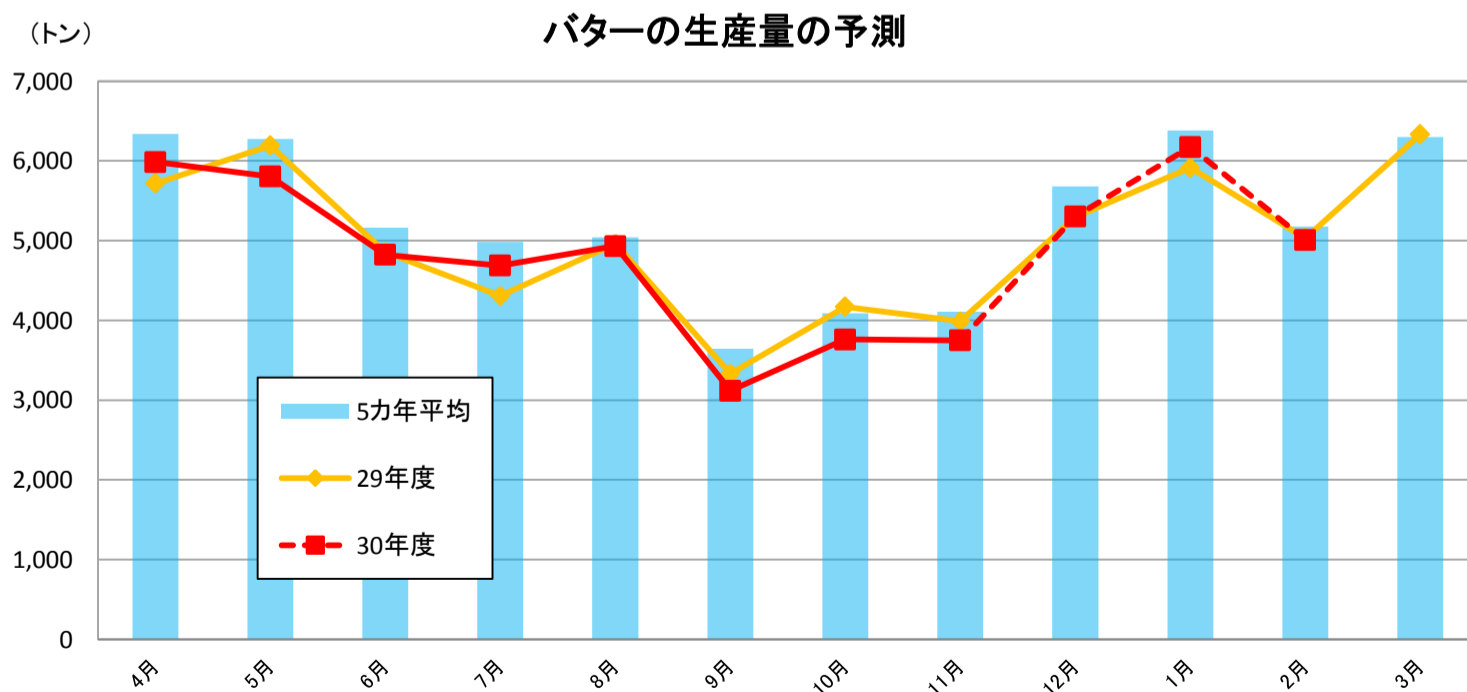
○ 月末在庫量は、上記出回り量を前提に推定した結果、2月末時点で2万1千トン程度と予測する。

(単位：千トン)

	生産量	輸入量	出回り量	期末在庫量		
				計	民間在庫	機構在庫
30年 12月 (見込み)	5.3 (100.1%)	1.3	8.3 (108.4%)	19.7 (89.6%)	19.7 (89.6%)	0.00
31年 1月 (予測)	6.2 (104.4%)	1.3	5.1 (115.5%)	22.0 (93.5%)	22.0 (93.5%)	0.00
2月 (予測)	5.0 (99.6%)	0.7	6.3 (106.6%)	21.4 (93.3%)	21.4 (93.3%)	0.00
12～2月平均	5.5 (101.5%)		6.6 (109.6%)			

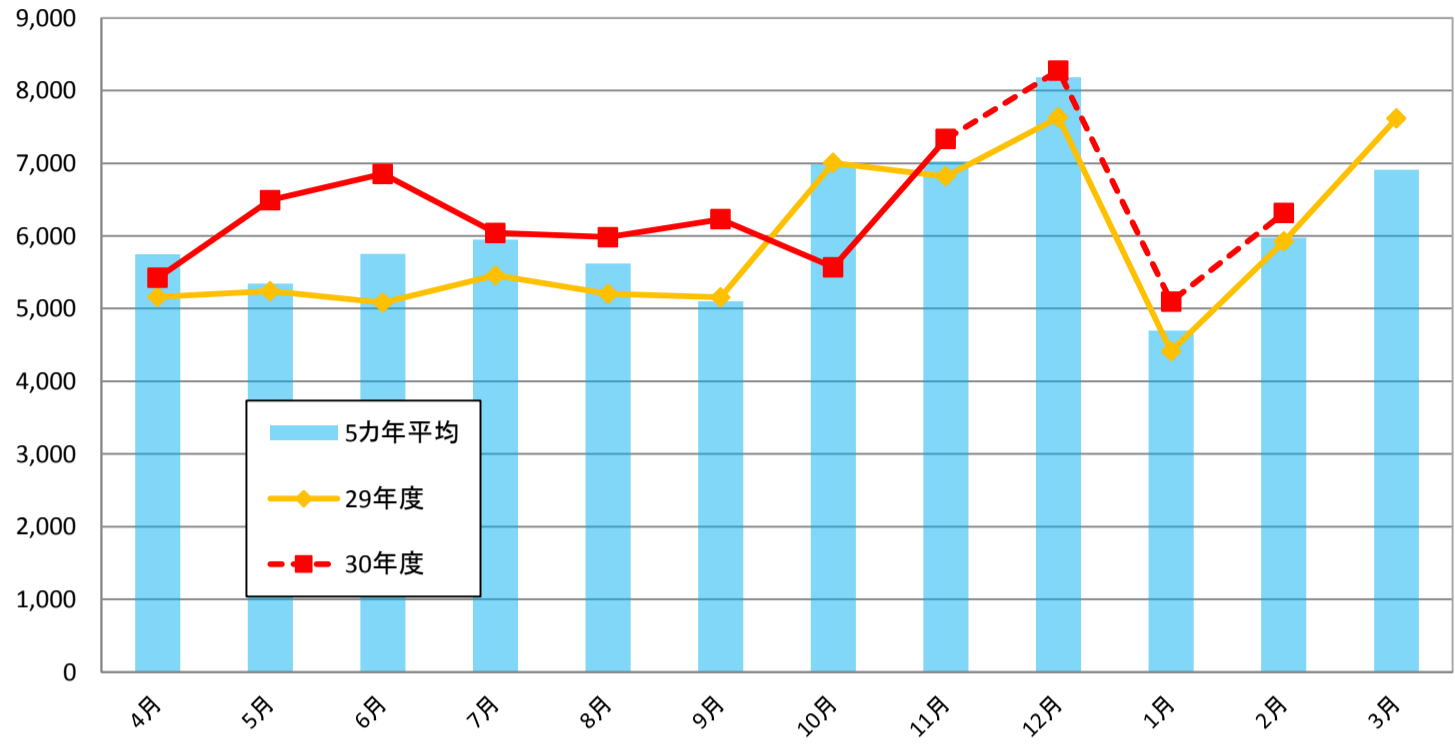
注1：()は前年同月比。

注2：出回り量には、乳業以外への輸入バターの売渡し予定数量を含む。



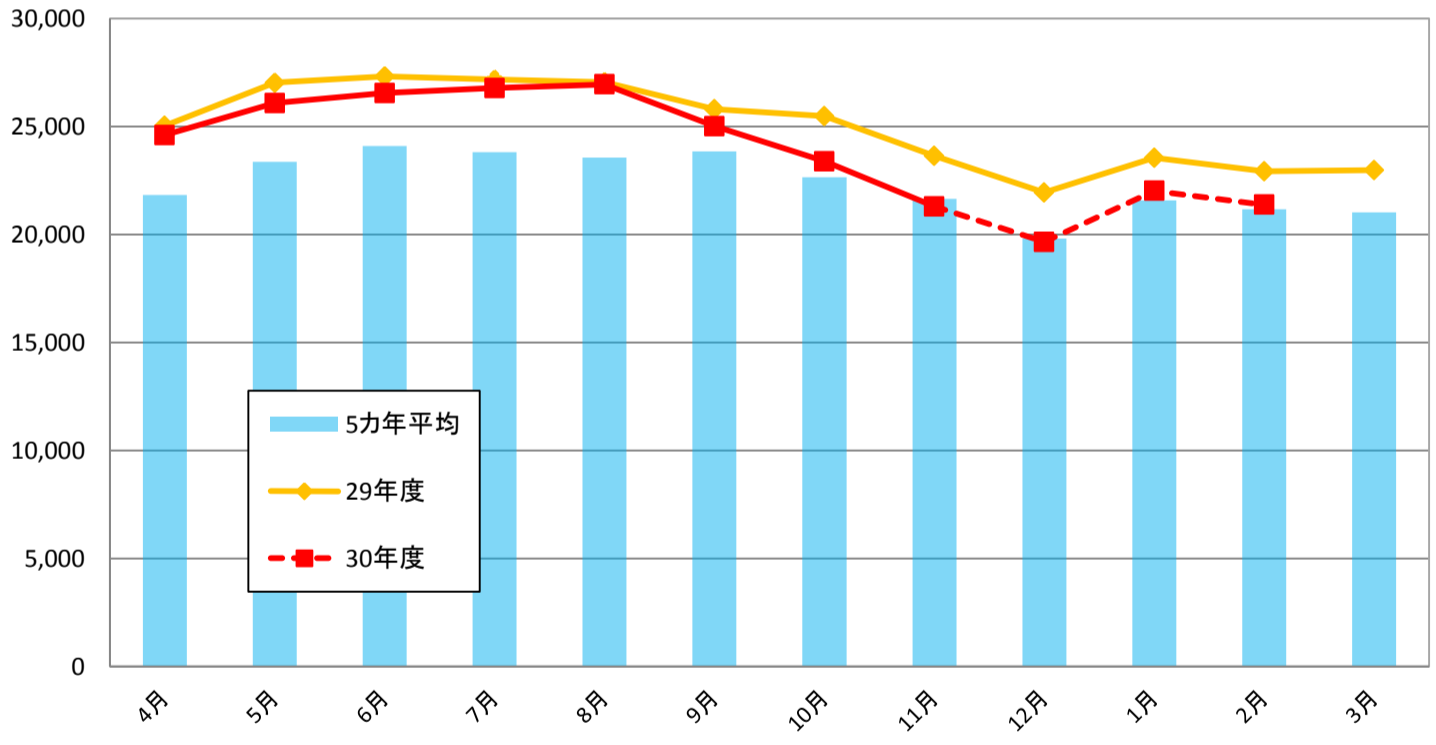
(トン)

バターの出回り量の予測



(トン)

バターの在庫量の予測



2. 脱脂粉乳

(1) 生産量

○ 生産量は、バターと同様に、1月は脱脂粉乳・バター等向け生乳供給量の増加を受けて前年同月を上回る一方で、2月は脱脂粉乳・バター等向け生乳供給量の減少を受けて前年同月を下回ると予測する。

(2) 出回り量

○ 出回り量は、バターと同様に過去の月別出回り量の実績などをもとに推計した結果、1月、2月ともに前年同月を上回ると予測する。

(3) 在庫量

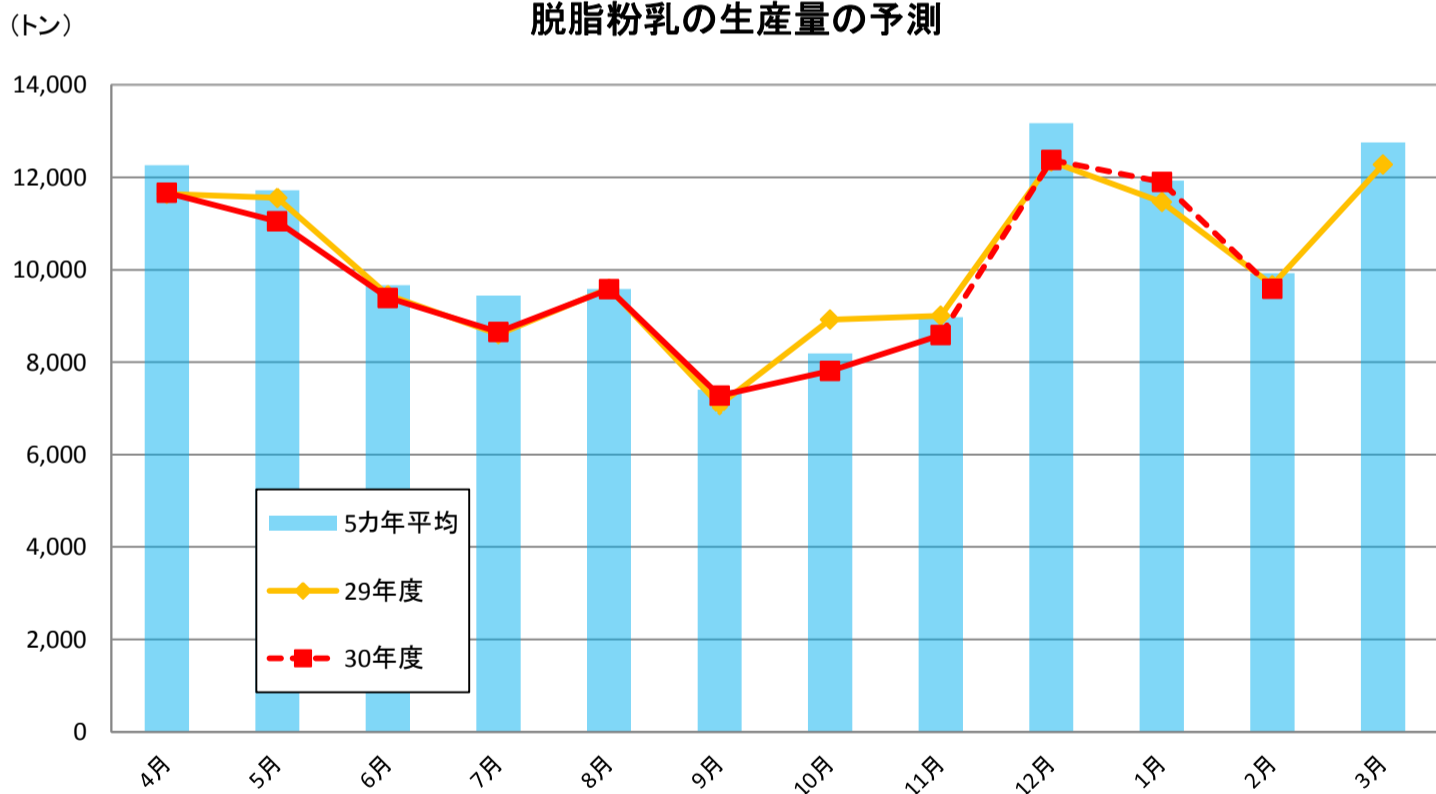
○ 月末在庫量は、輸入品の積み増しなどにより、2月末時点で6万4千トン程度と予測する。

(単位：千トン)

	生産量	輸入量	出回り量	期末在庫量		
				計	民間在庫	機構在庫
30年 12月 (見込み)	12.4 (100.3%)	1.6	10.4 (84.0%)	61.2 (109.0%)	61.2 (109.0%)	0.0
31年 1月 (予測)	11.9 (103.8%)	1.0	10.0 (108.7%)	64.0 (103.2%)	64.0 (103.2%)	0.0
2月 (予測)	9.6 (99.2%)	0.9	11.0 (105.7%)	63.6 (98.9%)	63.6 (98.9%)	0.0
12~2月平均	11.3 (101.2%)		10.4 (98.2%)			

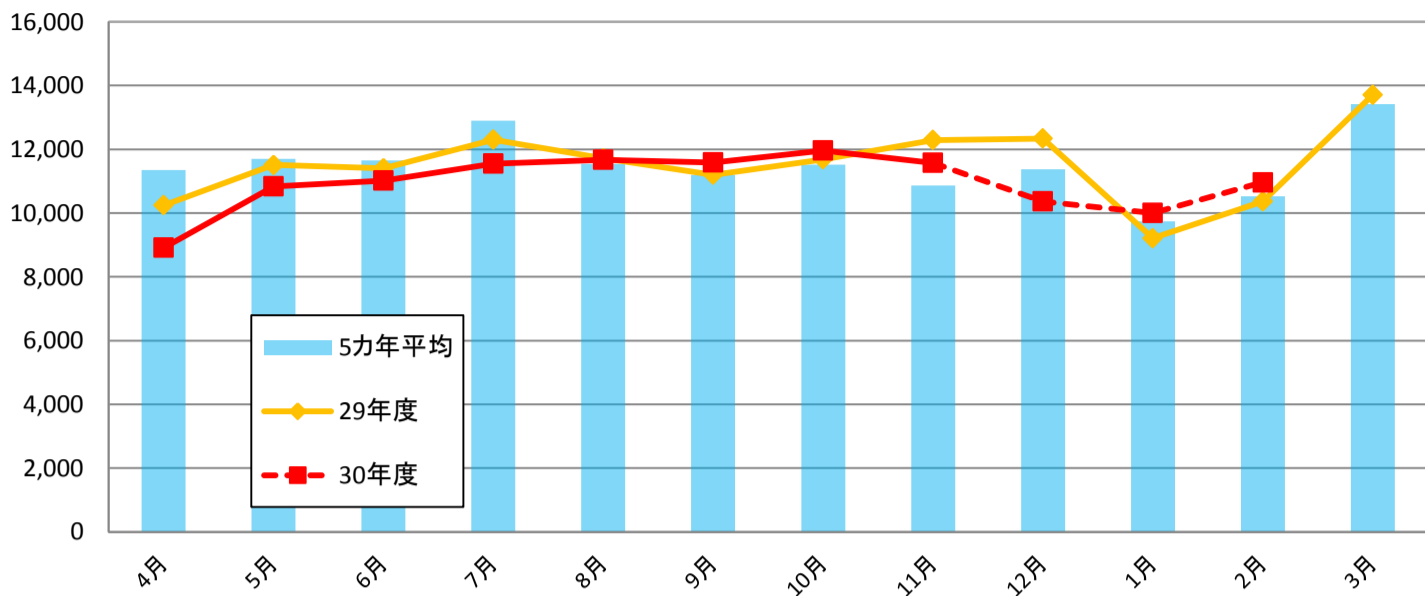
注：（ ）は前年同月比。

脱脂粉乳の生産量の予測



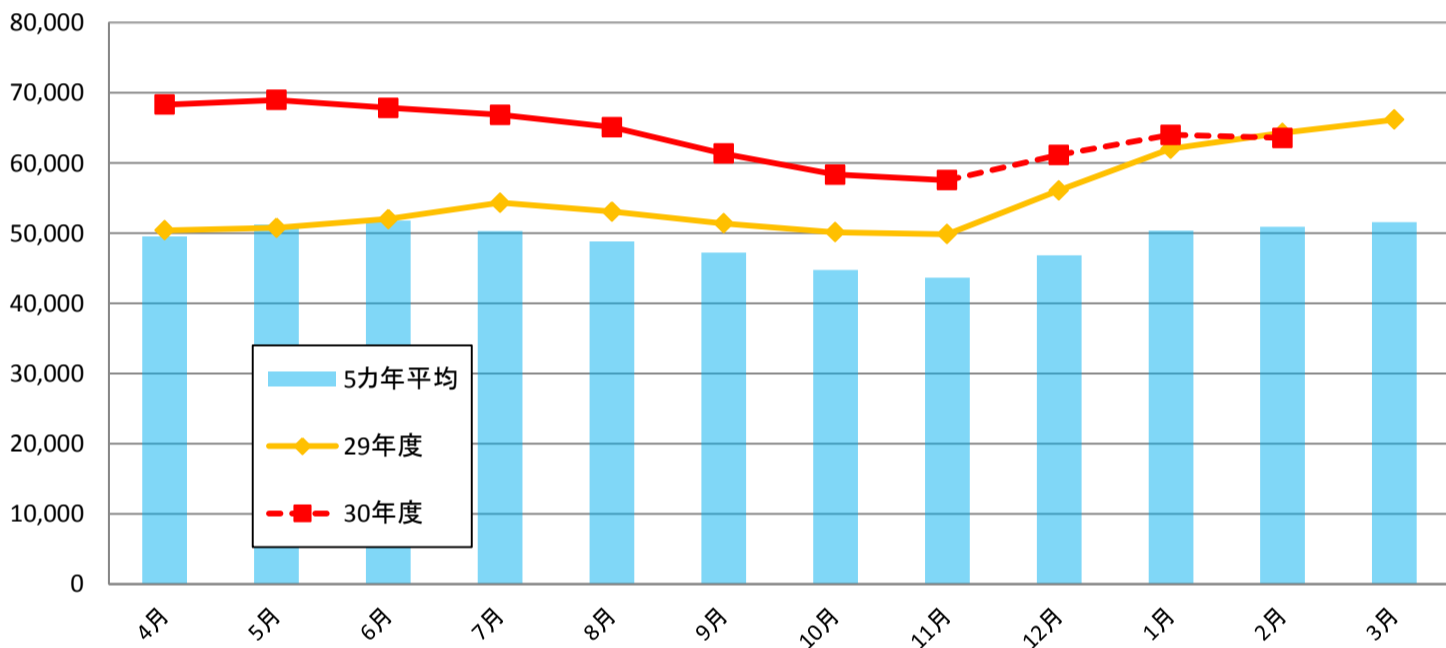
(トン)

脱脂粉乳の出回り量の予測



(トン)

脱脂粉乳の在庫量の予測



(予測手法等)

- バター・脱脂粉乳の生産量は、一般社団法人Jミルクの需給見通しを参照し、製造係数を乗じて算出。
- 輸入量は、機構の売買実績及び輸入数量見込み。
- 出回り量（予測）については、過去6カ月の出回り量の伸び率をもとに算出し、さらに輸入品の放出の影響も考慮。
- 月末在庫量は、前月末在庫量に生産量及び輸入量を加え、出回り量を控除して算出。
- 月末在庫量のうち民間在庫量は、牛乳乳製品統計の乳製品の月末在庫量（全国）に相当するもので、乳業者メーカー等の在庫量。

お問合せ先：
 (独) 農畜産業振興機構
 畜産需給部 需給業務課 後藤、二又
 TEL 03-3583-9466 FAX 03-3587-0768